

第七十四回帝國議會 衆議院

昭和十三年法律第六十四號中改正法律案(兌換銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル件)外一件 委員會會議錄(速記)第八回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出) 昭和十四年法律第二號中改正法律案(昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

會議

昭和十四年三月二十三日(木曜日)午後一時 十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡崎久次郎君

理事北原阿智之助君 理事坂田 道男君

理事大野 一造君 理事世耕 弘一君

松尾 四郎君 清 寬君

宮澤 胤勇君 野方 次郎君

小笠原三九郎君 伊禮 肇君

豐田 收君 野溝 勝君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 松村 光三君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏書記官 尾關 將玄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

昭和十四年法律第二號中改正法律案(昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

○岡崎委員長 只今カラ會議ヲ開キマス、關稅定率法中改正法律案、昭和七年法律第四號中改正法律案、昭和十四年法律第二號中改正法律案、右三案ヲ一括シテ議題ニ供シマス

○大野委員 只今提案ヲサレマシタル三案ニ付キマシテハ、昭和十四年法律第二號中改正法律案、是ハ既ニ衆議院ニ於キマシテハ歲出ニ於キマシテ決議ガサレマシテ、既ニ貴族院ニ廻ツテ居ルモノノ收入ニ充テルベキ公債發行デアリマシテ、是ハモウ已ムヲ得ナイモノト致シマシテ、認メルコトニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ昭和七年法律第四號中改正法律案、此ノ法律案ハ支那ヨリ輸入スル所ノ蠶豆トカ、或ハ棉子油ノ輸入ニ對シマシテ重量稅三割五分ヲ撤廢ス

ルト云フノデアリマシテ、我國ノ工業原料トシテ最モ必要ノモノデアツテ、是モ認メルコトニ致シタイト思ヒマス、關稅定率法中改正法律案、之ニ對シマシテハ日本ト滿洲トノ經濟上ノ一貫セル見地カラ輸入稅ヲ撤廢シテ、雙方ノ產業ヲ開發スルト云フコトニ付テハ適切ナルモノト考ヘルノデアリマスガ、將來ニ對シテ極メテ重大ナル問題デアリマスノデ、之ニ對シマシテハ一部修正ヲ行ヒ、尙ホ且附帶決議ヲ附シテ本案ニ贊成シタイト云フコトデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ政友會、民政黨、兩黨協

議ノ上、兩黨ノ意見ガ一致致シマシタノデ、茲ニ私ヨリ申上ゲマスルガ、其ノ修正ヲ致シマスル箇所ハ、本法案ノ末尾ニアリマスル附則デアリマス、原案ハ「本法ノ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス」トアリマスルノヲ修正致シマシテ「本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ス様ニ修正ヲ致スノ

政府ハ滿洲國ヨリ「ヒマシ」油原料輸入ニ付從來ノ數量確保ノ爲適當ナル處置ヲ講ズベシ

斯様ナ附帶決議ヲ附シマシテ、他ハ全部原案ヲ認メタイト思フノデアリマス

○岡崎委員長 世耕君

○世耕委員 只今民政黨側ノ御提出ニナリ

デアリマス、其ノ趣旨ハ、滿洲國カラ輸入スル「ヒマシ」油ノ原料ハ、滿洲國ニ於テ輸出稅ヲ撤廢スルト同時ニ、我國ニ於キマシテモ「ヒマシ」油ノ輸入稅ヲ廢止スルト云フ譯デアリマス、次ニ滿洲國ニ於キマシテ最近「ヒマシ」油製造ノ長足ナル進歩ヲ見テ居ルノデアリマシテ、是ガ我國ノ「ヒマシ」油工業ニ相當ノ壓迫ヲ感ゼラレルノデアリマス、ソコデ雙方適當ナル發展ヲ圖ル爲ニハ、左記ノ如キ附帶決議ヲ附シタイト思フノデアリマス

附帶決議

政府ハ滿洲國ヨリ「ヒマシ」油原料輸入ニ付從來ノ數量確保ノ爲適當ナル處置ヲ講ズベシ

斯様ナ附帶決議ヲ附シマシテ、他ハ全部原案ヲ認メタイト思フノデアリマス

マシタ修正案並ニ附帶決議ノ提案理由ニ付テ同意ヲ表シタイト思フノデアリマス、尙ホ二三點ニ付テ改メテ申上ゲタイト思フコトハ、昭和七年法律第四號中改正法律案並ニ昭和十四年法律第二號中改正法律案ニ關シテハ、原案ヲ其ノ儘承認致シタイト思フノデアリマス、其ノ他ノ點ニ關シマシテハ只今民政黨ノ委員ノ御發議ノ通り同意ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、唯一點附帶決議ノ條項ノ所デ、從來ノ數量ヲ確保スルヤウニ政府トシテハ適當ナル處置ヲ執レト云フ點デアリマス、詳シイコトハ抜キニ致シマスガ、從來「ヒマシ」油ニ關スル滿洲國ノ原料消費量並ニ日本内地ニ於ケル原料ノ消費量ヲ本年度別ニ於テ檢討致シテ見マスト、逐年増加致シテ居リマスガ、十三年度ニ於テハ滿洲國ニ於テ二割、日本内地ニ於テ八割ノ消費ヲ致シテ居ル、即チ二對八ノ割合ニナツテ居ル譯デアリマス、嚴密ナコトヲ申シマスト、滿洲國即チ關東州内ヲ含ム使用量ヲ嚴密ニ調査致シマスト、十三年度マデハ最高ガ一割四五分ニシカ當ツテ居ラナイ譯デアリマス、デアリマスルカラ從來ノ數量確保ト云フ意味ハ、斯ウ云フ點ニ留意サレタイト云フコトヲ特ニ附加ヘテ置キタイト思フノデアリマス

尙ホモウ一點棉子油ノ減稅ノ問題デアリマスガ、是モ趣旨ニ於テ贊成致シテ置キマス、唯此ノ際希望トシテ述ベタイトコトハ、此ノ減稅ニ依ツテ却テ米國品ガ多數日本内地へ輸入サレル結果ニナルノデハナイカ、其ノ爲ニ却テ内地品ノ壓迫ヲ受クルノデハナイカト云フ憂ガナイトハ限ラナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點ニ付テモ今後適當ニ考慮シテ置カレルヤウニ希望ヲ述ベマシテ、關稅定率法中改正法律案ニ對スル附帶決議並ニ修正意見ニ贊意ヲ表スル者デアリマス

○岡崎委員長 野藩君

○野藩委員 私人關稅定率法中改正法律案ニ對シマシテ政府ノ原案ニ贊成シ、他ノ修正案ニ對シマシテハ反對ヲスル者デアリマス、其ノ理由ト致シマシテ、本法ハ——我國ガ相當大キナ犧牲ヲ拂ツテ滿洲國ヲ生マセ、又ソレヲ育テ上ゲヨウトシテ今日多クノ努力ヲ拂ツテ居ル次第デアリマス、特ニ我國ハ東亞協同體ノ盟主トシテ自他共ニ任ジテ居ル際デアリマシタケニ、ヨリ一層其ノ氣持ヲ現實ニ見セナケレバナラヌト思ヒマス、東亞協同體建設及ビ秩序ノ維持ト云フヤウナコトハ唯言葉ノ上ダケデナクテ、實際ニ示サナケレバナラヌト思フノデアリ

マス、最近支那方面ノ政治、經濟或ハ思想ノ狀態ヲ觀察ニ行ツタ人々ノ話ヲ聽キマスト、東亞協同體、所謂日滿支ノ協同體ノ建設ト云フヤウナコトヲ言ウテモ、實際ハ物ヲ以テ示サナケレバイカヌ、唯口ダケデアリカヌノデアアル、支那人、滿洲人ハドチラカト言ヘバ理智ガ缺ケテ居ルノダ、サウ云フ點デ手取早ク彼等ヲ感心セシムルノニハ、一ツニハ物ヲ以テ之ヲ示サネバイカヌト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、其ノ點カラ見マシテモ、此ノ際日本ト致シマシテハ、滿洲國成立ノ當初カラ大キナ犧牲ヲ拂ツテ居ルノデアリマスカラ、滿洲國ヲシテ自他共ニ國家トシテ恥シカラザルヤウニ完成セシメテコソ、初メテ東亞協同體ノ盟主タリ得ルモノデアルト思フノデアリマス、デアリマスカラ將來ノ大目的ノ爲ニハ、目先ノ利益或ハ損失ノミニコダハルト云フコトハ大イニ考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、私ハ本法ガ日本ト滿洲トノ二國政府ノ協定ノ上ニ立ツテ出來タ關稅定率法中改正法律案デアルダケニ、一ツハ東亞協同體建設ノ基礎的的使命ヲ果スモノデアリ、一面ニハ戰爭目的ノ遂行ニ役立つ所ノ大使命ヲ持ツテ居ル意義ノアル法案ダト心得テ居ル次第デアリマス、以上我國ノ一貫セル大理

想ノ實現ノ一環トシテノ原案ニ私ハ贊成ヲ致シマス、政民兩派ノ方々ノ出サレマシタ修正案「本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ私ハ左ノ三點ヲ理由トシテ具體的ニ反對ヲスル者デアリマス、政民兩派ノ方々ノ意見ハ、内地業者ヲ壓迫シ、滿洲業者ヲ優待スル、内地產業ノ破壊デハナイカト云フコトガ骨子ノヤウニ見受けラレマス、各論トシテ之ヲ申上ゲルナラバ、特ニ現在「ヒマシ」油百斤ニ二圓九十七錢ノ關稅ヲ無稅ニスルコトハ、滿洲製成品ノ「ヒマシ」油ガ格安ニ日本ニ入り込ミ、日本ノ業者ヲシテ競争ヲサセル、ソレノ原料ヲ獲得シ、餘ツタ分ダケデ事業ヲヤツテ行ケト云フ風ニ考ヘテ居ル點ガアルヤウニ見受けラレマス、其ノ點ニ付キマシテハ一應ハサウ見受けラレルノデアリマスケレドモ、吾等ハ決シテサウ見テ居ラナイノデアリマス、「ヒマシ」油ノ效用ハ現在下劑藥デハナクテ、一ツノ軍需資材デアリマシテ、今日ノ時局ニ於テハ最モ必要ナ資材デアリマス、此ノ資材ハ日支事變ノ遂行ノ過程ニ於テ先決資材デアリ、重要資材デアリマス、特ニ此ノ戰爭資材ヲ先決ニスル爲ニハ、私益ト云フモノハ第二義ニシナケレバナラヌノデ

アリマス、ソレカラ滿洲國ト日本トハ經濟「ブロック」デアルダケニ、特ニ滿洲ノ業者ガ……

○岡崎委員長 野溝君ニ一寸注意致シマス、貴族院ガ待ツテ居ルノデスカラ簡單ニ願ヒマス

○野溝委員 滿洲ノ業者ガ成功スルコトハ、日本ノ犠牲ヲソレダケ少クシテ行クコトニナルノデアリマス、左様ナ意味デ洵ニ結構デハナイカ、今回ノ業者ノ反對ハ意義ガ無イ、又業者ニ壓迫ト云フヤウナコトハ、特ニ考慮サレマシテ、「ヒマシ」原料ニ於テハ内地業者ニ六割ヲ確保スルト云ヒ、輸出ニ對シテモ十分此ノ點ハ調整ヲシテ行クト云フコトヲ言明サレテ居ルノデアリマス、私ハ政府ヲ信頼致シマシテ、此ノ際議會ニ於キマシテ滿洲國ノヤルコトハ、事毎ニ横著ナリ、或ハ内地ノ業者ヲ壓迫スルモノナリナドト云フコトデナク、滿洲建國ノ精神、特ニ日本ガ滿洲國ヲ育テ上ゲル、眞ノ日滿提携ヲスルノダト云フ、將來ノ此ノ見透シノ上ニ立ツナラバ、少數ノ業者ノ不安ハ此ノ際我慢シテ貰ツテ、大目的ノ爲ニ本法ノ施行ヲ期サナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テ本案ハ提出サレタモノト信ズルガ故ニ、私ハ修正案ニ對シテハ

反對シ、原案ヲ支持セントスル者デアリマス

○岡崎委員長 私特ニ政府ニ對シテ極メテ簡單ニ質問申上ゲタイト思ヒマス、本修正案ノ趣旨ハ、私明細ニ申上ゲマセヌガ、斯様ナ結構ナ修正ガ出來ルコトニ對シテ、政府ハ此ノ法案ヲ出ス時ニ既ニ之ヲ御承知ニナツテ居ツタコトト思ヒマスガ、ソレニ對シテ折衝ナサツタノカ、或ハ折衝シテモイケナカツタノカ、或ハ注意ガ足ラナカツタノカ、ドウシテ斯ウ云フ恰好ニナサラナカツタノカ、内容ハ今申上ゲナイ方ガ宜イト思ヒマスガ、少シ怠慢デハナイカト思ハレル點ガアリマス、ト云フノハ將來鐵トカ銅トカ「アルミニウム」トカ、石炭トカ、色々滿洲トノ間ニ關稅協定ガアルト思フノデアリマスガ、是ガ一例トシテモウ少シ注意深ク本案ニ對シテノ研究ヲヤツテ貰ヒタイト云フヤウナ氣ガシマスガ、之ニ對シテ政府ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、一應御答辯ガ願ヒタイト思ヒマス

○尾關政府委員 本案ヲ提出スル前、各關係官廳集リマシテ十分ニ研究シテ出シタ積リデゴザイマス、仰セノヤウナ點、總テノコトニ付キマシテハ、一應ノ調査研究、總テ濟ミマシテ提出シタモノデゴザイマス

○岡崎委員長 甚ダ不十分デスケレドモ、マア諒承致シマス、野溝君ノ原案維持ニ對シテハ贊成者ハ一人モナイヤウデアリマスカラ、消滅スルト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、贊成ガゴザイマセヌカラ決ヲ採リマセヌ——採決ニ入りマス、關稅定率法中改正法律案ヲ議題トシテ、原案ニ大野君提案ノ修正ヲ加ヘタルモノ及ビ附帶決議ニ贊成ノ御方ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

○岡崎委員長 大多數、原案ニ大野君ノ修正ヲ加ヘタルモノ及ビ附帶決議ハ可決致シマシタ

○岡崎委員長 次ニ昭和七年法律第四號中改正法律案、昭和十四年法律第二號中改正法律案、此ノ二案一括シテ採擇致シマス、ドナタモ別ニ御異議ガナイヤウデアリマスカラ、起立ニ問ヒマセヌガ——是ハ全會一致可決致シマシタ——前ノ修正案ニ對スル政府ノ御意見ヲ承リマス

○松村政府委員 只今本委員會ニ於キマシテ決議サレタル事項、即チ附則ノ修正デアリマスガ、是ハ貴族院ニ於キマシテ同様ノ決議ヲ見マシタル場合ニ於キマシテ、初メテ政府ハ之ニ同意致シタイト思ヒマス、只

今ノ所ハ貴族院ノ結果ヲ待ツコトニ致シマス

○岡崎委員長 ドウモ御苦勞様デゴザイマシタ、是デ閉會致シマス
午後一時四十分散會

第六類第二十五號 昭和十三年法律第六十四號中改正法律案(兌換銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル件)外一件委員會會議錄 第八回 昭和十四年三月二十三日 四

昭和十四年三月二十五日印刷

昭和十四年三月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局